

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	周藤 寛雅	電話番号	40-1044 (内線) 2252
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意 図	A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予 算 科 目	会計 款 大事業 大事業 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金 項 目 中事業 中事業 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金
	基本事業	〈072〉子育てと仕事の両立支援	意 図	子育てと仕事を両立できる。	予 算 科 目	1:0:0:5:7:4 業名 緊急包括支援補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童福祉施設(委託・私立施設) 保育所、児童クラブ、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、病児病後児保育室	児童福祉施設等は、保護者の就労等により、家に一人であることができない年齢の子どもが利用するものであることから、このコロナ禍に於いても適切な感染防止対策を行った上での事業継続が求められている。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度~ R4 年度)	児童福祉施設等(委託・私立施設)における感染拡大を防止し継続的な事業実施に向けた環境整備を図ることを目的に、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品購入等に係る費用の補助を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
R4.11~ 交付申請・交付決定 概算払 R5.3 実績報告・確定通知 精算	令和2年8月 補助事業開始 令和3年新型コロナウイルス感染症の拡大により事業を継続 令和4年新型コロナウイルス感染症の拡大により事業を継続

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 感染症対策をした上で、事業継続した施設数(直営施設除く)	箇所	25	26	26	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
補助実績額10,364千円	国庫支出金	千円		4,266	4,248	
【財源内訳】 国: 保育対策総合支援補助金2,200千円 子ども子育て交付金2,048千円 県: 子ども子育て交付金2,048千円	県支出金	千円	10,840	2,066	2,048	
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		2,131	4,068	
	事業費計	千円	10,840	8,463	10,364	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	保育施設等における新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液やマスク等の備品購入の補助を行うことで継続的な保育の実施を図った。
② 事業実施するうえでの課題	児童福祉施設は、継続的なサービス提供が求められており、そのために不可欠な事業である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	児童福祉施設は、継続的なサービス提供が求められており、そのために不可欠な事業である。